

令和5年度学校経営方針

1 教育目標

『ふるさとを愛し、夢や希望をもち学び続ける児童の育成』

目指す児童像

『ふるさと胡麻に愛着をもって自ら学ぼうとする胡麻っ子』

2 経営方針

地域の方々とのビジョンを共有しつつ、地域社会総がかりの教育を実践していく地域とともにある学校づくりをベースにしながら、学校および学校運営協議会を核とした協働の取組と地域道徳・親子道徳の創意ある推進によって、ふるさと胡麻の将来を担う人材を育てるとともに、信頼ある学校づくりの重要な要素である教職員の教師力の向上を目指した取組を重点化する。

そのために、地域・保護者・全教職員による協働体制で、次の5点を基本的な方針として教育活動を推進する。

(1) 人権教育の推進

人権教育を基盤として、人との関わり合いを深め、日々の授業を通して、一人一人のよさを生かし、支え合い高まり合う教育活動を推進する。また、新型コロナウイルス感染症にかかる科学的な認識を深めた人権教育の推進に努める。

(2) 学力向上と指導力向上

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を大切に、ICT活用を生かした授業改善を進め、児童のコミュニケーション力や非認知能力を高めるとともに、思考力、判断力、表現力等の向上を図る。

(3) 地域とともにある学校づくりの推進

地域社会総がかりの教育を進める。ともに子どもを育てるという立場から、地域・家庭の思いや願いを教育課程に取り入れ、地域とともにある落ち着いた学校づくりを進める。

(4) 「考え議論する道徳」の推進

地域の大人も児童も地域道徳・親子道徳を通じてふるさとへの思いが、さらに膨らみ地域のよさを大切にしていこうとする思いを共有できるような取組を推進し、「考え議論する」道徳を推進する。

(5) afterコロナ時代の対応

「学校の新しい生活様式」の指導を継続するとともに、児童の実態や家庭状況の把握に努め、相談体制を整えたり、関係機関との連携を進める。また、ICT等を生かした学習内容や活動内容の創意工夫を行い、児童の豊かな学びと地域の方とのつながりを大切にした育ちに努める。